



さつき

しあわせを咲かせて生きる。

s a t s u k i

2017年5月

Vol.89



特集

平成29年度
さつき会経営(事業)計画

SATSUKIKAI

(3) 中重度要介護者の自立生活とQOL向上を目指し、多職種協同による根拠に基づいた専門的なケアを提供する。

① 美味しく安全な食事の提供
自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より楽しく、より安全に食べること」を実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事提供体制・栄養管理体制の改善を図る。

② 専門職として、一人ひとりが介護過程を展開する
利用者一人ひとりの個別性に注目し、身体状況(健康状態)、心理状態、社会的側面を総合的に判断して、どうすれば利用者の「自立とQOL向上」が図られるかを根拠(なぜそうなのか、その理由を説明できること)に基づいて実践・評価する。さつき会の基本理念である、「自立支援介護」と「最後まで尊厳を守る介護」の具現化を目指し、ケアに従事する全ての専門職が介護過程を意図的・計画的に実践し、より専門性の高いケアを提供する。

(4) 真の優しさと専門性を備えた職員育成とチーム力(人間関係、相互協力、目標共有など)の向上を支援する。

① マナー(思いやり)の向上
職業倫理は私たちプロが絶対に守らなければならないものである。日々、モラル・マナーを意識し、その延長線上にある、法令遵守と利用者の尊厳を守るケアに努める。特に、1)抑制(言葉・薬・物理的・肉体的)・拘束・虐待・根拠のない不適切なケアを廃止すること、2)言葉づかい(利用者に対して「敬語」を使うこと)、3)態度・表情(職場内では「明るく笑顔で仕事すること」)、4)身だしなみ(清潔で不快感を与えない服装・頭髪・身なり)を徹底し、職員一人ひとりが思いやりの心を体現する。

② 基本理念の浸透・共有・共感
職員一人ひとりの価値基準と方向性を一つにするよう、研修・会議等の機会を通じて、「理念とは何か」「なぜ理念が必要か」「さつき会が目指す福祉の仕事とは何か」について、リーダー以上の職員が日頃から明確に語れるように努める。
事業所単位では、理念を日々の仕事に生かすために、毎日の朝礼、月例会議等において共有・浸透させるための工夫・改善を図る。

③ リーダーシップを適切に発揮できるリーダーの育成
リーダーが、明確にチームの目標を明示し、その実現のために職員同士の心と心を通り合わせ、人と人を結びつけ、業務と人間関係の改善を図り、チームワークを築き向上させていくよう、リーダー以上の対象とする「リーダー研修会」を企画・実施し育成する。

④ 専門職として、主体性を持ち継続学習に努める。
専門職とは、専門的な知識・技術・考え方(理念・介護観)を人に伝えられる人である。学びの基本は自学自習・自修自得であることを踏まえ、一人ひとりが自分の将来像を明確にし、そのために必要な「知識・技術・価値観」の習得・形成する。
また、新しい知識・技術を習得し、短時間でも効果のある機能回復訓練・アクティビティ等を取り入れ、利用者のADL・QOL向上を図る。

⑤ 職員教育プログラムの体系化
利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育プログラムを階層別・新任職員(入社時研修・フォローアップ研修)、総合職研修・専門職研修・専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。

⑥ 上司と部下の共通目標の明確化
期首(年度初めに)に部下と上司が面談を行い、部下の希望する目標、上司として期待する目標を相互に確認した上で、部下とともにその期の目標(①個人目標、②事業所・ユニット単位のケア目標)を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。平成29年度は、経営職・管理職・指導職に実施する。

⑦ 新人事・賃金育成システムの推進と改善
さつき会のキャリアパスを有効に活用して、職種・職位毎に求められる役割・行動・成果・目標を明確にし、より多くの職員が安心と希望をもって働くよう制度を運用する。同時に、職員の待遇改善・福利厚生の充実を図り、やりがい、働きがいの下支えとなる基盤の強化を図る。

⑧ 第7回サービス向上発表会の実施
年1回の実践発表の場を持つことで、自分たちの実践を振り返り、評価・見直し、ケア・サービスの改善にチームとして取り組むことでチームワークの向上を継続して図る。また、各事業所・係が互いの実践を共有し相互理解を深める機会とともに、より多くの地域関係者、養成校の教員・学生を招き、さつき会のケア・サービスの質向上の取り組みを発信する。

⑨ 入社説明会の開催とSNSを活用した魅力発信
新規学卒者及び転職を検討している人に対象とした、法人独自の入社説明会を開催する。さらに、多くの方がさつき会で働きたいと思ってもらえるように、若手職員を巻き込みながらSNSを活用し、法人の魅力・強みを日常的にPRしていく。

(5) 適正利益の確保と業務効率化を図り、安定経営の基盤を整備する。

① 10年後の法人運営を見据えた長期人材育成保
さつき会の経営理念・ビジョンを共感・理解し、自ら情熱・やりがいを持って、さつき会をより良くするために学習・研鑽・行動する職員を育成するための研修会・諸活動に取り組む。

② 適正利益の確保
全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、事業活動収入の5%を目指す収支差額(32,990千円)に掲げ、その運営管理(マネジメント)をつかさどる月次業績検討会議・リーダー会議等の方法を変更・拡充する。また、常にサービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。

③ 法人・施設運営の事務業務の再編と改善
重要な法人経営に関わる財務管理・組織管理・事業管理全般にわたる業務が滞ることのないように、分担と協同、再編と改善を行い、円滑かつ効率的に業務が完遂できるようにする。

④ 鷹栖さつき苑開設30周年記念各種行事の企画
平成30年4月に鷹栖さつき苑開設満30年を迎える。開設を記念した事業を実施するため、(仮称)「鷹栖さつき苑開設30周年記念事業実行委員会」を設置し、行事並びに事業を計画する。

⑤ 第4次中期経営3か年計画の推進
いかなる環境下においても、全ての事業所において良質高度なケア・サービスの提供体制と適正利益を確保し続けられる安定経営の実現を図るために、人材育成と財政状況の改善を、第4次中期経営3か年計画に基づき、諸課題を一つずつ確実に解決・解消する。

平成29年度 経営(事業)計画 (第44期)

SATSUKIKAI

平成29年度 全事業所職場目標

『まず、やってみる』

全職員が「まず、やってみる」を合い言葉に、個々の成長・成熟とチームの結束を強め、より良い「施設づくり・地域づくり・職場づくり」を実践する

- 1. できることから“やってみる”
人間は顔が違うように、できることもそれぞれ違います。そのできる力を早く探すひとつの方法が、「できることをする」ということです。まず自分には何ができるかを考えて行動する。
- 2. 素直に“やってみる”
素直な人は、成功者に学び、謙虚に「まず、やってみます」と行動する。素直でない人は、行動する前に良いか悪いかを考え、不安や猜疑心などにより行動が鈍る。行動して失敗することもあるが、行動したからこそ良かったか悪かったかが判断できる。素直にやってみることが成長の近道と考え行動する。
- 3. 失敗をおそれず“やってみる”
たとえ失敗や困難が訪れても、「ピンチが『成長』のチャンス」と考えて、「まず、やってみる」。最初はうまくいかなくても、あきらめずに続けることで習慣化され、「できた」が増えしていく。自信とは「できた」の集積であり、自らの達成感ややりがいを得るためにプラス思考で行動する。

平成29年度 事業活動のポイント

(1) 安心住まいの提供と住民参加による元気創り・生涯活躍の場づくりを支援する。

- ① 新たなニーズに応えるための社会福祉事業・地域貢献事業の開発・実施
一般高齢者・中高年等への介護予防の拡充と支援・軽度の要介護者が、必要な在宅サービスを利用し、可能な限り鷹栖町で自立した生活が営めるようサービス付き高齢者向け住宅・総合事業拠点の運営を行行政・地域住民との連携・協同の下に運営する。
- ② 災害に強い施設づくりと施設環境改善計画の策定
施設が最後まで人生を楽しく豊かに暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行するとともに、中期経営3か年計画に基づいた災害対策と施設環境改善を実施する。
- ③ 職員の地域活動の推進
鷹栖町内で高齢者介護に関する情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ出向き介護講座やサロン(地域の茶の間)の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に高齢者介護についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。
- ④ ボランティア・地域住民と協働した活動
施設のマンパワーだけ利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守ることは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上(生活の質向上)を図るための「協力者」として、異なる意見・協力を得て共に活動する。

(2) 在宅生活の継続のため、在宅系サービスの全事業所にトータルケアシステムを導入し、的確なケアマネジメントと在宅サービスを提供する。

- ① 中重度者に対する良質高度なケアとマネジメントの提供
施設・在宅を問わず中重度化・重症化リスクのある人に対して、状態悪化を早期に発見し、適切な介護・看護・栄養のトータルケアシステムを導入する。それに基づき分析・対応することにより重症化予防や入院を減らし、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかで笑顔のある暮らしをつくりだすケアを提供する。
- ② 小規模多機能ホーム(二か所)・デイセンター・ヘルパーステーション・ショートステイ・居宅介護支援事業所の運営改善の強化・推進
「自宅が一番」という高齢者・家族の願いに応えるために、小規模多機能ホーム・デイセンター・ヘルパーステーション・ショートステイ・居宅介護支援事業所のケア・ケアマネジメントの質向上と連携を強化する。事業所間がより緊密な連携を図りながら、状態変化後の迅速なケースカンファレンス、退院支援コーディネート、医療機関と連携強化を図り在宅生活の維持及び退院後のスムーズな対応を図る。
- また、各事業所が、新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、わかりやすい情報発信と人的ネットワークを築きながら、ニーズを発掘し、サービス提供に結びつける。

小規模多機能ホーム 鷹栖なごみの家

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 送迎
- B. 食事
- C. 入浴
- D. 排泄
- E. レクリエーション
- F. 職員の対応
- G. サービス全体
- H. センター

—— ご利用者 回答数19人

【満足度調査集計結果の総評】

今回の調査では「送迎」「排泄」「職員の対応」で「満足」という高い評価をいただきました。一方2名の方が「食事内容と料金について」は「とても不満」、レクリエーションについて3名の方がやや不満との回答。今年度の課題「魅力のある充実したレクリエーション」の取り組みが不十分であった事を再確認し、皆様に満足していただけるよう改善を行っていきます。また4名の方が「身体機能の維持・改善」に関してあまり改善していないとの回答、ご利用者の体調の把握・管理を十分に行い、生活機能向上に向けた取り組みを強化していくことが今後重要な課題です。

今後、サービス向上と改善に向けた取り組みを行い、ご利用者・ご家族の皆様に信頼され、満足していただけることを目指して参ります。

林崎 美紀

多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 食事 / 生活環境
- B. 入浴 / 基本ケア
- C. 排泄 / 言葉づかい
- D. 行事 / 面会時のご様子
- E. 生活環境 / 職員の雰囲気
- F. 接遇 / 料金
- G. 職員の対応 / 広報誌の閲覧

—— ご入居者 回答数5人

—— ご家族 回答数15人

【満足度調査集計結果の総評】

「食事」「排泄」「行事」「生活環境」の項目では、ご協力いただいた方全員より「とても満足」との回答をいただきました。今後、よりご満足いただけるよう取り組みたいと思います。ご家族からも「満足」との回答を多くいただきました。面会時、ご入居者の笑顔や穏やかな表情を見られ、安心された等のご意見も多くいただき大変嬉しく感じます。

職員の自己評価については、全ての項目においてやや不満と感じている職員がいました。自分たちの知識や技術の不十分さを感じ、向上したいと思っている結果です。次年度はこの項目について改善を図りたいと思います。

今回も、皆様から大変貴重なご意見をいただきました。自らのサービス内容・業務態度の見直しをし、サービスの質の向上に努めていきたいと思います。

秋保 友美

鷹栖町ヘルパーステーション さつき苑

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 決められたサービスの提供
- B. 礼儀・態度
- C. 身だしなみ
- D. 契約時の事前説明
- E. 安心できるサービスの提供
- F. 計画通りのサービスの提供
- G. 苦情や要望への対応

—— ご利用者 回答数37人

【満足度調査集計結果の総評】

今回の満足度調査では、前年度と比べ「やや不満」との回答をいたしました。安心できるサービスの提供の質問項目で「頼んだ仕事を残されており、そのようなときはメモを残すなどしてほしい」「衣類の破損があった場合はそのままにせず伝えてほしい」という意見をいただいている。基本的にはご本人・ご家族から依頼のあった事を優先的に行うこととし、物品・衣類については使用する前によく確認し、少しでも破損や不具合があればすぐ伝えることを徹底していくよう研修で再確認しました。1人ひとりが細やかな気配りができるよう、また皆様に安心していただき、サービスの提供ができるよう努めて参ります。

今回多くの貴重な意見をいただきましたので、今後も職員一丸となってサービスの向上に努めたいと思います。

伊藤 尚子

特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 利用者本位
- B. 基本ケア
- C. 環境・楽しみ
- D. 接遇
- E. 総合

—— ご入居者 回答数23人

—— ご家族 回答数29人

【満足度調査集計結果の総評】

いずれの項目においても「満足」「おおむね満足」と高い評価が半数以上だったのに対し「利用者本位」「環境・楽しみ」の項目については満足していただけていないという結果となりました。また「スタッフは親切」とのご意見をいただいた反面「体が思うように動かないときは手伝って欲しい」とのご意見もいただきました。入浴ケアについては浴室が寒いという意見をいただき、このことから浴室の環境の見直し・入浴後は服を着るまでお待たせしないよう努めて参ります。

ご家族からは7~8割が「満足・おおむね満足」の回答をいただきましたが「入浴・清潔」の項目について不十分であることがわかりました。今後、入浴がより心地よい時間となるよう改善していきます。ご入居者・ご家族に安心してご利用いただける施設になるよう努めて参ります。

谷口 尚弘

小規模多機能ホーム ぬくもりの家えん

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 送迎
- B. 食事
- C. 入浴
- D. 排泄
- E. レクリエーション
- F. 職員の対応
- G. サービス全体
- H. センター

—— ご利用者 回答数37人

【満足度調査集計結果の総評】

全体を通して「良い」との声を多くいただきましたが、レクリエーション全体においては「やや良くない」との貴重なご意見をいただいています。楽しめるレクリエーションの実施と体操や学習療法の実施により改善が図れるよう、一層の努力をしていきたいと思います。

調査結果を参考に、レクリエーション内容を検討し満足していただけるよう取り組みます。また、事業所に求めるポイントとして多くの方が挙げていた、専門性と信頼できるケアが提供できるように改善を図っていきます。ありがとうございました。

能登 純子

地域密着型特別養護老人ホーム ぬくもりの家えん

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 利用者本位
- B. 基本ケア
- C. 環境・楽しみ
- D. 接遇
- E. 総合

—— ご入居者 回答数23人

—— ご家族 回答数29人

【満足度調査集計結果の総評】

ご入居者のご意見は利用者本位という点で充分に対応できていなく、1割の方が不満を感じておられます。特に要介護度が軽い方がサービス全体において満足していないことが言えます。ご家族においては、職員の接遇に対して満足していない方がおられました。こちらについては、要介護の軽い方は自分でできることは自分で行っていたらることが基本方針ではありますが、それが楽しみや役割を持って生活できるよう努めています。

ご家族のご意見に対しては、接遇研修や相談できる機会を設け改善を図りたいと思います。

職員も6割は自分たちの仕事に満足しておりますが、更に研鑽しご入居者により良いケアと、ご家族にご理解いただけるケアを目指し努力して参ります。

谷本 政美

鷹栖町デイサービスセンター はぴねす

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 送迎
- B. 食事
- C. 入浴
- D. 排泄
- E. レクリエーション
- F. 職員の対応
- G. サービス全体

—— ご利用者 回答数79人

【満足度調査集計結果の総評】

今回「送迎」「食事」「職員の対応」に高評価をいただきました。また、課題としては「①デイサービスを利用して友人・知人が増えた」「②体操により身体機能向上に繋がっている」の評価が低い結果となりました。①について、新たなことにも努めましたが、今一步の工夫が必要と考えております。今後もコミュニケーションの取りやすい環境作り、外出行事など充実した内容を検討し、改善を図れるよう取り組んで参ります。②について、アンケート結果より身体機能が維持できており、体操等による効果が出ているといえますが、ご利用者がその成果を喜びに感じ、やる気に繋がるような配慮も必要と考えています。今後も体調を十分に把握し身体機能の維持・向上が図れるよう、充実した内容を検討し取り組めるよう努めて参ります。

藤川 朋恵・柳原 明美

介護センター さつき苑

ご利用者アンケート 各項目5段階評価

【アンケート内容】

- A. 介護保険や手続きなどの説明はわかりやすいですか
- B. 相談や希望に応じて、いろいろなサービスの情報を提供してくれますか
- C. サービスを利用するにあたり、あなたの意見が取り入れられたケアプラン（介護計画書）が作られていますか
- D. ケアマネジャーは相談しやすいですか
- E. ケアマネジャーに相談することで、不安・心配事などが少くなりましたか
- F. 要望・不満などを伝えた時に満足のいく対応をしてくれますか
- G. ケアマネジャーの服装や態度、言葉遣いに満足していますか

—— ご利用者 回答数91人

【満足度調査集計結果の総評】

公的な制度は年々複雑化している為、居宅介護支援事業所でも最新の情報を把握し、引き続き制度・ケアプラン・手続き等についてご利用者・ご家族により分かりやすくお伝えできるように工夫していきたいと考えております。

全体を通しては満足・普通との声を多くいただきましたが、やや不満の大変貴重なご意見をいただいておりますので、次年度に向けて改善が図れるようより一層の努力をしていきたいと思います。

伊賀 あけみ



第6回 さつき会サービス向上発表会



平成29年2月24日、第6回サービス向上発表会が開催され、今年は5事業所7名が発表しました。

お年寄りを元気にするために、よりよい生活を送ることができるよう、少しでも以前の暮らしが取り戻せるように…それぞれが思いを実践に移し、工夫と改善を図り、素晴らしい発表会となりました。

最優秀賞には、多職種が力を合わせてトータルケア(重度化対応・重度化予防)に取り組み、305日間入院ゼロ、21ヶ月間の延べ入院日数11日となった、特別養護老人ホームぬくもりの家えん「まさかの入院ゼロ!~その影にあったもの~」が選ばれました。



待ち時間も
あったかす体操で健康づくり♪



この度は最優秀賞という素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。
今まで実践してきたことを形にすることで、私たちも改めて現状を把握し、新たな課題を見発することができました。今後もご入居者のために、多職種が力を合わせ一つの目標に向かって努めて参ります。

ぬくもりの家えん 主任 森 ひろみ
リーダー 室橋 綾乃

高校生アルバイトインタビュー

さつき苑では、食事介助専門のスタッフが数名勤務しています。その中でも今回は高校生アルバイトのお2人に突撃インタビュー!
突然のことに戸惑いながらも一生懸命答えてくれました。

- ①アルバイトを始めたきっかけ
- ②実際に食事介助を行ってみて感じたこと
- ③将来の夢 ④趣味・はまっていること

①元々介護関係の仕事に就きたいと思っていましたが、クラスメイトの池田さんに勧められたことがきっかけです。
②最初はどうやって行けばいいのか分からず戸惑いましたが、教えていただくうちに「どうやったら上手く食べてもらえるのだろう?」など、色々と考えられるようになりました。
③母が介護士なので、母のようになりたいと思います。
④バスケットボールやバレーボールなど、身体を動かすこと。



【中條 優依さん】



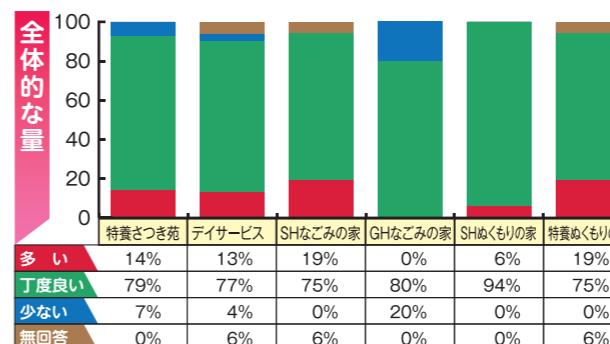
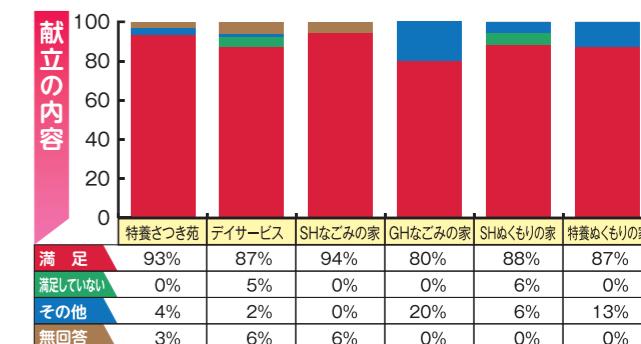
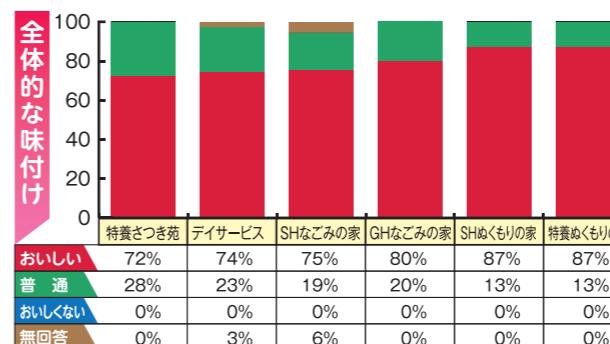
①何かアルバイトをしたいと思っていた時に、高校でアルバイトの紹介があり、やってみようと思いました。
②最初はなかなか食べもらわなければ、覚えることもたくさんあって大変でしたが、やっていくうちに少しずつできるようになってきて、楽しいです。
③理学療法士になりたいと
思い、進学を考えています。
④バスケットボール



【池田 優香さん】

2人とも笑顔がとても素敵で、食事の場がぱッと明るくなります。これからも一緒に、ご入居者の「食の楽しみ」を支えていきましょう。

平成28年度 さつき会食事サービス満足度調査結果報告



各施設アンケート回答者数

特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑	入居者数50名 うち回答者 計29名
デイサービスはびねす	利用者数87名 うち回答者 計82名
SH鷹栖なごみの家	利用者数22名 うち回答者 計16名
GH鷹栖なごみの家	入居者数18名 うち回答者 計5名
SHぬくもりの家えん	利用者数20名 うち回答者 計16名
特養ぬくもりの家えん	入居者数20名 うち回答者 計16名

(SH=小規模多機能ホーム · GH=グループホーム)

食事サービス満足度調査を終えて

今年の1月～3月にかけてご入居者・ご利用者を対象に食事サービス満足度調査を実施し、皆様から直接ご意見・ご要望をたくさんいただきました。

これらの貴重なご意見等につきましては、他職種と協力して改善に努めて参ります。

特養さつき苑では昨年度、味噌汁が「ぬるい」との声が多く聞かれました。本年度は改善され、全体的な満足度も向上することができました。来年度も維持・向上していくよう努めて参ります。その他には味や固さ、温度についてバラつきがあるとの声が聞かれました。安定した食事を提供していくよう改善いたします。

デイサービスでは「食事の温度がぬるい」との声が聞かれました。バイキング形式を実施していることで盛り付けから喫食までに時間がかかることがあるため、配膳方法や食事の盛り付け時間を見直し、出来るだけ皆様に温かいお食事をお届け出来るよう取り組んで参ります。「食事はデイに来る1つの楽しみ」「家では作れない、食べられないものをいただける」との声も聞かれました。今後も楽しい食事の時間を過ごしていくよう努めて参ります。

なごみの家では、昨年度「食事量が多い」との声が多く聞かれましたが、今年度は「ちょうどよい」との声が多く改善がみられました。「食事の温度がぬるい」との声が多く聞かれたため、食事の盛り付けから配膳までの時間を見直し、皆様に温かいお食事をお届け出来るよう取り組んで参ります。

ぬくもりの家えんでは、食事の味付け・量とともに、昨年度より「ちょうどよい」との声が多く改善がみられました。野菜の固さについて「時々固い」との声が聞かれたため、野菜のゆで時間や切り方の工夫などを見直し、出来るだけ食べやすいお食事をお届け出来るよう取り組んで参ります。

今後も、ご入居者・ご利用者のご意見・ご要望をお聞きしながら、できるだけ日々の献立や行事食に取り入れて行きたいと思います。さつき会の食事を通して、心から元気に、そして楽しい時間を過ごしていただけるよう、一層努力して参ります。ご協力いただいた皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

管理栄養士 鈴木 さゆり・己上 純子



新しい 入居者のご紹介

さつき苑
山田 ヒサ 様

ぬくもりの家えん
今村 春枝 様



さつき苑
松永 ハマ 様



さつき苑
舟根 末子 様



さつき苑
米嶋カズ子 様



ぬくもりの家えん
山口 キヌ 様

デイサービスセンター はぴねすのひなまつり

おひな祭りといえば毎年、桜餅をみなさんと一緒に作っています。手際よく、あっという間に完成しました。中には、自宅で1升分のもち米を炊いて、作る方もいらっしゃいました。

出来上がった桜餅を早速いただくと、柔らかくて、とっても美味しい、

感動しました。お店に負けないほどの

完成度! すばらしいおやつ作り

となりました。また、来年

も楽しみです。

主任 松原 美咲

こりゃ
うまい!



美味しいな～れ

平成28年度 第5回ヘルパー茶話会

3月12日(日)、サロンで北野地区住民対象の茶話会を開催、当日は20名の方にご参加いただきました。

伊賀あけみケアマネジャーによる講話「認知症予防と認知症の方への関わり方」をとても分かりやすくお話ししていただきました。

メモをとりながら真剣に聞かれている姿がとても印象的でした。講話の後は、米っこシフォンケーキをいただきながら楽しい茶話会です。皆さんとっても若々しくお元気で、いつも感心しています。

こうして仲間と一緒に出かける楽しみを持ち、会話をたくさんすることも若さの秘訣でもあり、認知症予防のひとつだと改めて感じた一日でした。短い時間ではありましたが、お話しをさせていただきヘルパーの私たちも楽しい時間を過ごすことができました。ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。

来年度も各地区での茶話会を予定しています。より多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

主任 米澤 美絵



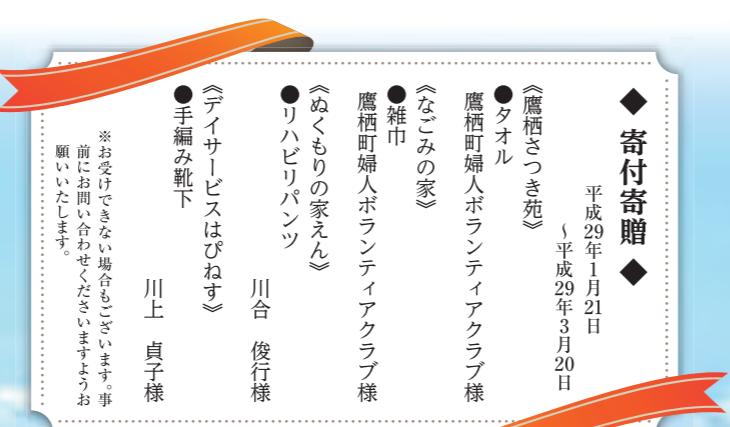
勉強になるわ♪
会話って大事よね!

編集後記

北海道でもようやく春の訪れを感じられるようになり、いよいよ新年度のスタートです。さつき会も新任職員を迎えて、現任職員とともに新たな一步を踏み出したところで、今はまだ互いに期待と不安が半々といったところです。これから一日でも早く期待でいっぱいになってほしいと思っています。

季節の変わり目は体調を崩しがちです。体調管理に気を配りながら、新年度も笑顔で過ごしていきましょう。

志知 百合佳



くもん学習療法サポーター交流会行いました。

学習療法は、簡単な計算や読み書きの教材を通してコミュニケーションを図ることができ、認知症やその進行予防に効果があります。

ぬくもり友の会の16名の皆様が学習療法の研修を行い、平成28年2月末より学習療法サポーターとして活躍していただいている。

学習療法サポーター同士の意見交換の場として「サポーター交流会」を開催し、第3回目を2月になごみの家にて行いました。

内容は認知症についての研修と、学習療法のポイントを再学習しました。

日常の疑問点を解決し、笑いのある交流会となりました。

交流会の最後には、学習療法実践士のカードを一人一人に手渡し、笑顔の時間となりました。

また平成29年2月から、新たに5名の方が研修を行い、サポーターとして一緒に楽しく行っています。今後もよろしくお願ひいたします。

新規加入メンバー

- ・長田 キヌ子様
- ・加賀 洋子様
- ・中家 一子様
- ・藤井 照美様
- ・伊東 千穂子様

皆さん真剣です...



カードの授与!!



第8回 よい あいさつ大賞 決まる！



総務課
高橋 良恵さん



特別養護老人ホーム
鷺栖さつき苑
牧野 美子さん



小規模多機能ホーム
鷺栖なごみの家
松嶋 清二さん



多機能型グループホーム
鷺栖なごみの家
志知 百合佳さん



デイサービスセンターはぴねす
柳原 明美さん



総務課
高橋 良恵さん



特別養護老人ホーム
鷺栖さつき苑
牧野 美子さん



地域密着型特別養護老人ホーム
ぬくもりの家えん
坂口 竹美さん



小規模多機能ホーム
ぬくもりの家えん
大懸 恵美さん



ヘルパーステーション
小笠原 二美さん

平成29年度 入社・辞令交付式 永年勤続表彰式

4月3日、さつき会入社式が行われ、新規採用者7名に木津理事長から辞令交付が行われました。

また、10年の長きにわたりさつき会に貢献してきた永年勤続者5名(谷和仁(在宅介護支援課課長)、河田真美子(鷺栖町出向)、設楽剛寛(鷺栖さつき苑)、稻井幸子(鷺栖さつき苑)、菅原雄樹(鷺栖なごみの家))に表彰状ならびに副賞が贈られました。

新入職員も10年後この場に立てるように、ともに支え合い、ともに成長ていきましょうね！

総務課 高橋 良恵



がんばるぞ！



同期ってイイネ

特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
居宅介護支援事業

鷺栖さつき苑

〒071-1201 鷺栖町南1条3丁目2番7号
TEL(0166)87-3321

地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能ホーム
地域交流スペースふれあい茶ろくとく

ぬくもりの家えん

〒071-1249 鷺栖町9線4号5番地
TEL(0166)87-5824

多機能型グループホーム・小規模多機能ホーム

鷺栖なごみの家

〒071-1201 鷺栖町南1条1丁目1番20号
TEL(0166)59-3321

サービス付き高齢者向け住宅・フィットネス俱乐部 コレカラ
地域交流スペース あえーる

ぬくもりの家たかほ

鷺栖町ヘルパーステーションさつき苑
〒071-1223 鷺栖町北野東3条1丁目7番1号
TEL(0166)76-5037

◆ ホームページ ◆

さつき会

検索



<http://www.satsuki-kai.jp>

◆ ブログも更新 ◆

さつき会ブログ

検索



http://blog.livedoor.jp/satsuki_kai/

発行責任者 波瀬 幸敏